
シニア世界選手権2015 (7)

フランス・エギュベレット 30/Aug/2015-06/Sep/2015

遠征レポート - 2015年8月31日



LM2-の小林選手（戸田中央総合病院RC）と陶山選手（明治安田生命）



LM2-：陶山選手（明治安田生命）・小林選手（戸田中央総合病院RC）

8月31日(月) レース2日目

本日も穏やかな天気です。朝7:00出発のバスで会場に向かい、須田選手、男子ダブルはレース前の確認、レースのないクルーは明日に備えて乗艇をしました。本日のレースはLM2-とLM4-の予選、LM1Xの須田選手とLM2XのRepechageが予定されています。

9:30過ぎにLM2-と須田選手が蹴り出しました。LM2-のレースは10:20発艇。

レース序盤から第2クォーターまでドイツ、オーストラリアと2位争いを繰り広げていましたが第3クォーターでは遅れ始め、ラストはオーストラリアに約8秒つけられ4着でフィニッシュ。明日のrepechageへ挑みます。

ペアの次のレースがLM1X須田選手のrepechage。第2クォーターまでウルグアイ、ウクライナとずっと横並びで、どのクルーが2着までに入るかわからない状態でしたが

第3クォーターにはウルグアイを離し、あとはウクライナとのデッドヒート。そして見事、僅差で1着でゴール。きついレースだったでしょうが、無事明後日のquarterfinalsへと駒を進めました。

11:20より男子ダブルのレース。

序盤より遅れをとり、ポルトガルと中国とは距離が空いてしまいました。ピッチを上げて決死の追いかけをしようとしたが届かず3着。semifinals EとFに回りました。

この日のラストレースは12:30よりフォアのレース。

そうそうたるチームばかりで、日本は序盤より後ろに置いていかれてしまいました。

結果は6着。世界とのギャップを感じました。午後はコース解放が遅いため乗艇はせず各自調整となりました。世界のなかでのCrew JAPANは苦戦を強いられています。

しかし、めげずに次へと進んでいきたいと思えます。



LM1x 須田選手（アイリスオーヤマ）



LM2x 中野選手（NTT東日本）・大元選手（アイリスオーヤマ）



LM4- 西村選手（NTT東日本）・田立選手（戸田中央総合病院RC）・片岡選手（明治安田生命）・今井選手（NTT東日本）